



消防記念日の表彰

星野 義一氏(自主防災会副会長)
けやき自主防災部
もみのき自主防災部



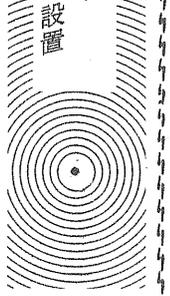
3月7日は消防記念日。
昭和23年3月7日に「消防組織法」が施行され自治体消防制度が発足したのを記念して、昭和25年に制定された記念日です。
今年3月11日に市民防災センターにおいて「消防記念日表彰」が行われ「自主防災活動推進功労者」として桂坂学区自主防災会の副会長・星野義一氏が「市長表彰」を、また、けやき自主防災部が「消防局長表彰」を受けられました。

同じく、3月16日には西文化会館ウエスティンにおいて消防記念日の表彰式があり、もみのき自主防災部が「西京消防署長表彰」を受けられました。
おめでとうございます。
京都には「ひと・まちの絆」でつくる安心都市・京都の目標が掲げられています。桂坂学区の「安心・安全のまちづくり」のために自主防災活動の精鋭としてますます活躍されまことを望んでおります。

西京区30周年記念に

タイムカプセルを設置

3月10日「西京区30周年記念事業」の最後を飾る記念行事——「記念モノユメント」と「タイムカプセル」を設置する式典が西文化会館ウエスティンの広場において挙行されました。
昨年は、「未来に羽ばたく」西京区の将来像に想いを遣りながら西京区民の参加のもと記念祭はじめ多様な行事が展開されました。今回、二〇年先に開封される予定で設置されたタイムカプセルには、桂坂関係



では、自治連合会が学区の住宅地図、『桂坂学区創立10周年記念誌』、各種団体のうち、社会福祉協議会、民生児童委員協議会、体育振興会、地域女性会、山の手倶楽部、そしてはなみずき、あかしあ、これのきの三自治会がそれぞれ貴重な記録・写真や二〇二七年度の人たちに宛てたメッセージなどが納められました。なおこの中には昨年お生まれになった子どもさんの写真も含まれており、開封

20070403
[06・08]
総 124号
発行 桂坂自治連合会
編集 広報編集部

桂坂センター前のバス停に屋根

「桂坂センター前」バス停・「桂坂中央」行きバス留所に屋根が出来ました。
3月26日。降雨時の乗り降りにはうれしい配慮で、これで荷物を持った買物帰りの方も雨を避けてバスを待つことができます。

池の周りに「柵」

この度、桂坂公園の池の周り(全長二二〇m)に、近隣の自治会の要望がいられて「水難事故」を防止する柵が設けられました。かつては池の周りに水生植物のスイレンなどが植えられ、桂坂の自然にふさわしい水辺を形づくっていました。ついでにそれをも復元し、子どもさんが魚や水生植物の観察を通して情操を育むことのできる場にしてもらえたらと思います。

各自治会の 御礼

桂坂体育振興会会長 布本和久

2月18日の卓球大会をもちまして平成18年度の事業は全て滞りなく終了いたしました。体育祭をはじめ開催した各大会も盛大のうちを終了し、これらは全て私どもの今後の事業につながる意義ある大会だったと思えます。これも偏に各自治会の体育委員の皆様のご協力・ご支援のおかげであり、そのご苦労に対し深く感謝申し上げます。
年度初めの総会において自治会の体育委員の皆様は他の役に比べるとご苦労が甚だしいと感じました。子どもたちはお散歩や公園で遊ぶのが大好きです。四季の表情豊かな遊歩道を通り、目的の公園を目指して歩きます。車を気にせず歩けることは大変恵まれた環境です。そのせいか、道すがら目とくいるいろいろな発見をしているものから、それはそれは賑やかです。いざ、目的地に到着すると、心と体を更に弾ませて思いきり楽しそうに遊びます。

多く大変だと申し上げました。事業を実施する際にはその都度、事業内容を回覧して参加申込みをまとめていただくのですが、チーム編成に必要な人数はなかなか集まりません。今はこれが実状で、ここからが体育委員の皆さんにお願いしたい役どころであることを説明させていただきました。電話での勧誘や、お家を訪問しての出場依頼など、大変なご苦労だったと思えます。このお蔭で全ての大会が成功いたしました。
今年度の体育委員の皆様は素晴らしいと私も思っています。早や十三年、しかし内二年と四カ月を、二回の南極観測越冬隊に参加して昭和基地で過ごした。
私は南極大陸で体験した最低気温はマイナス六三・四℃、バナナで釘が打てる世界だった。
私は調理担当だからといって仕事は隊員の食事を作るだけではない。南極の冬を少ない隊員数で乗り越えることができないので、何でもやらなければいけない。南極にゴミ収集車が来るわけがなく、一年を通して帰りのゴミ処理や下水処理などは輪番で行い、日本での何曜日と何曜日にはゴミ収集車が来てくれる有り難さや水の大切さがよく実感できました。その他、とび職や雪上すばらしいと思います。
天気の良い日には、「いつてきますよー」の小さい行列がつづき、帰り道の「ただいまー」の声は些かお疲れ気味? けれども、小さな手には木の葉や雑草のお土産を握りしめ、瞳は輝いています。地域の中で見守られ育つ子どもは幸せだと感じる瞬間です。
これからも、地域の皆様にご協力いただき、お散歩道や公園を汚さないで大切に遊ばせていただきたいと思います。公園で出会ったら、一緒に遊びましょう!

お散歩公園 だいすき

桂坂保育所



かくれんばや鬼ごっこができる公園、想像力をめぐらして「つもり遊び」ができる公園、保育所にはない遊具がある公園、自然観察ができる野鳥遊園、自然と向き合い遊べる山歩き……年齢や目的に合わせて行き先は変わりますが、豊かな心の成長と体力づくりには欠かせない、大切な保育の環境です。また、道で出会

桂坂から 南極昭和基地へ

車の整備から医療補助まで日本ではできない色々な体験ができて、沢山の隊員と出会えたことは私の人生の宝となっている。
芸術的な形の冰山や可愛いペンギン、神秘的なオーロラなど南極の大自然の中で眺めながら、しかし南極には山は有れど緑の木々は無いので、桂坂の緑の豊かさ、この時期の新緑の美しさなどを恋しく思い出すこともあった。
この続きは、私が勤務するお店にご来店の際、運良く店長(私)に時間があるかと、南極での出来事や南極の不思議などを話してお話を直接聞けるかも知れませんので是非、お店のピーク時を外してご来店くださいませー!
(国際日本文化研究センター内レストラン『赤おに』勤務)

桂坂紙上散策

地元の庭

「野鳥遊園」と
「赤おに」と

桂坂の野鳥遊園は、今では私たちにとても親しい地元の庭となっています。
野鳥が庭前に飛来し、緑道など散歩する折に木々で枝移りするその姿を見ると心が和みます。つがいや花の蜜を求めめるメジロや、シジュウカラ、ヤマガラスなど多彩な小鳥に出会い、楽し

体振

桂坂卓球大会

優勝 かえて自治会

2月18日(日)、平成18年度桂坂卓球大会が八自治会と混成の一チームの参加で開催されました。成績は次の通りです。

- 優勝 かえて
- 準優勝 しらかば
- 3位 さつき
- もみのき
- さつき
- はなみずき

敢闘賞 さつき

以下、ひいらぎ・さくら選手の皆様、ご苦労さまでした。短い時間でしたが、卓球を楽しんでいただけたと思います。

次回は全自治会が参加されますよう、よろしくお願いたします。

卓球担当 小川 誠一

桂坂「体振」

西京区民卓球大会で

念願の優勝

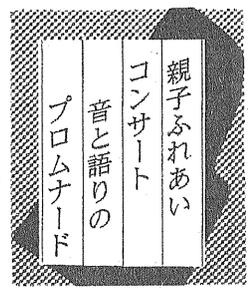
2月25日(日)、桂川地域体育館において、第27回西京区民卓球大会が開催されました。

桂坂「体振」チームは、常勝の檜原「体振」チームの九連覇を見事に阻止し、悲願の優勝を遂げました。

18年度は、春の「男子ソフトボール」・壮年の部「の優勝」が幕が開き、秋の「第18回市民スポーツフェスティバル」においては「小学生男女混合四〇〇mリレー」で優勝、そして今年度最後の事業である卓球大会においても有終の美を飾ることができました。18年度は実に輝かしい年度でした。

2月24日土曜日は寒い日でした。雪のちらちら舞う中、桂坂小学校の校門を入ると、梅の花が匂やかに咲き、春の訪れの近さを感じさせます。

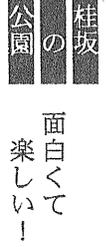
この日は、桂坂小学校PTA、桂坂保護司会、桂坂更生保護女性会主催による桂坂小学校・家庭教育学級が行われました。内容は、



つばき自治会 小阪 繁子

女性三人で結成されているグループ「音と語りのプロムナード」のお話と歌とピアノ演奏。今年でもう五回目になることとです。外の寒さとはうらはらに、中は暖かい空気に包まれています。

オープニングは、全員で「野に咲く花のように」を歌い、次は「セレナーデ」



編集委員 斉藤光恵

桂坂にお住いの皆さんは桂坂にいくつもある公園を楽しんでおられますでしょうか。

早春、訪れてみたい公園のお勧めは木々に育った梅が見事な西の「山の辺の公園」と難雑に色とりどりの梅が育っている東の「きざらぎ(如月)公園」です。

を歌って下さり、いよいよ「ハンゼルとグレーテル」

昨年、琵琶湖ホールで行われたオペラに感動して作られたそうで、私達の知ってお話とは違い新しいハンゼルとグレーテル。三人の方々の熱い思いが伝わってくる語りと連弾でした。その後は「千の風になつて」

を歌いジンとしたり、日本昔話を歌い懐かしく思ったりと、楽しい時を過ごさせていただきました。

私が三人の方々の温かい気持ちを感じたのは昨年、リクエストがあった「春の小川」を覚えていて

歌詞を刷って下さったことでした。

今年、五十八名の方が参加されたことと、子どもさんが少なかつたこととでした。

行くときの寒さがうそのような温かい心地よい気持ちで帰りました。来年も来て下さることとです。来年は何をしていただけるのでしょうか。

先日もピンクの帽子をかぶった保育園児が遊びに来ていました。大人の腰ほどのピンクのしだれ梅が子どもたちと同じくとても可愛らしかったです。

そして、桂坂口から少し入ったところの「かりん公園」も是非歩いてみて下さい。春にはピンクの花びらが愛らしいかりんの花が咲きます。遅咲きの八重桜や、夏にはさるすべり、秋にはいちょうの並木も楽しめます。公園には高低差が

3月10日、地域女性会主催の「春のコンサート」が桂坂小学校ふれあいルームにおいて行われ、集まった赤ちゃんから年配の方まで五〇名程が、丸田恵都子さんによるアルパ(パラグアイハープ)の演奏を楽しみました。

アルパとは、パラグアイ(南アメリカ大陸のほぼ中央に位置している国)の民族楽器で、クラシックの演奏で用いられるハープより少し小型の半音のないものです。高音域は琴の音色に

翌日の日曜日は雨天にもかかわらず、大勢の方々が参観に見え鳥も初日を意識してか「カワセミ」

「アオサギ」等多数の野鳥が歓迎、観鳥もカメラ、双眼鏡等片手に大勢の老若男女が楽しんでおられました。

また、国際日本文化研究センターの梅原猛所長の名付けられた「鳥と遊ぶ道」も夏休みの富士山登山のように、人の帯でまむしもびつくりといったところだったようです。

桂坂の方々の野鳥園を楽しみに転宅されて来られた方もあるやに聞いています。

土、日曜日は十時より五時迄、入場無料です。

野鳥遊園は市の社会福祉協議会に移管されました

これからも、足腰を鍛えて、元気に暮らして行きたいものです。

似ており、演奏された日本の曲とその柔らかい響きが不思議とよく合っています。もちろんパラグアイの曲も聴かせていただき、曲の間にはアルパを学び始め

と。いつもお茶の葉とお湯や水の入ったポットを持ち歩き、知り合いに会うとお茶を入れ、ストローを使つて回し飲みをする習慣があることなど。大変興味深い

編集委員 浅田 泰子

アルパの音色に癒されて

ものがたり。また、とてもきれいなワラニ刺繍の伝統工芸品も見せていただきました。楽しい時間はあっという間に過ぎてしまい、最後は今話題の曲「千の風

が、当時は桂坂の開発を手がけた西洋環境開発の管理下でした。北香掛五丁目

在住で、京都野鳥の会会員在住で、野鳥の会会員の大西忠男さん橋詰良彦さんら

の一角に設けられた「花の木ラウンジ」ではしばしば写真展、書道展、一筆画展や俳句の展示などが開かれました。開園二年で訪れた人は延べ六万人。

平成16年には子育て支援事業として「ものづくり体験館」も開設され、6月開催の「ホタル観賞の夕べ」

は今では桂坂の夏の風物詩となっています。

去る2月15日、ふれあい会館で「第3回桂坂野鳥遊園を育てる推進会地元協議会」が開かれました。

このように遠く離れた国の音楽や文化に少しでも触れられたことは有意義で、この日会場にいられた人だけが楽しめたのは、残念な気がしました。桂坂にもっと多くの人たちが集い、音楽会や講演会など文化的な活動のできる場所があれば良いのと思われました。

野鳥遊園の隣には、日頃「日文研」と気安く呼び慣わしている国際日本文化研究センターがあります。

「研究センター」という素敵な名とは裏腹に、日文研の先生が桂坂小学校の生徒さん相手に講義をされたり、大枝中学の生徒さんが学問の香り漂う施設を見学してその空気に触れたりしていますし、もちろん私たち住民も図書館の蔵書を見させていただけます。

「ここで食べさせてもらえますか」。日文研の隣にひろがり、初夏にはホタルもとびかう野鳥の森からの帰りらしいひとたち。「どうぞ、どうぞ一般の方々にも開いておられます」と、通りすがりの私は、いそいそと営業活動？をする。

シエフの北田克治さんは南極越冬隊から二回も頼まれて彼らの食事を担当し南極の水をもつて帰国、ときに南極の水でオンザロックをつくってくれる。美濃吉やてんぶらの吉川でも修業した人で和食の腕前はなかなかのもの。「ああ美味しい」と目を細めてもらえぬのが何よりの喜びと語る北田さん。日文研も休日に

なるお正月には、注文すれば美しく飾られた美味しいおせち料理を自宅に出前してくれる。

ワールドコーヒーの出店だが、もう少しもうけないと年内に店を閉鎖するというプレッシャーがかかっているという。危機救済のため、南極帰りの赤鬼さんこと北田さんの応援に皆様のお出ましを！ペルシャの鬼もかけつけ大枝の赤鬼たちといっしょに踊りをおどって出迎えてくれるかも。

日文研所長の片倉もとこさんが『京都新聞』(06・11・28付)のコラム「現代のことば」に「赤おに」は南極帰りの」の題で寄せられた文の結びです。

野鳥遊園を出た左手に、レストラン「赤おに」を示す小さな看板があり、横の小径を下りて行った右側に「赤おに」は在ります。北田さんは南極で撮られたペンギンや美しいオーロラの写真などたくさんお持ちです。北田さんに依頼した南極のお話は別掲してあります。ご覧ください。